

概要・拠点

設立 / 2008年(平成20年)3月24日
法人名 / 医療法人北海道家庭医療学センター
医療法人若草ファミリークリニック
株式会社HCFMパートナーズ
医師数 / 67名(2026年7月現在)
看護師数 / 61名(2026年7月現在)

拠点 / <直営>

本輪西ファミリークリニック
栄町ファミリークリニック(本部)
若草ファミリークリニック
向陽台ファミリークリニック
向陽台訪問看護ステーション

<公設民営>

寿都町立寿都診療所
中札内村立診療所
浅井東診療所
浅井診療所

<提携>

更別村国民健康保険診療所
国民健康保険上川医療センター
北星ファミリークリニック
社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院 総合診療科
まどかファミリークリニック
医療法人社団淀さんせん会金井病院



<滋賀県>浅井東診療所 / 浅井診療所
<京都府>医療法人社団淀さんせん会金井病院
<福岡県>まどかファミリークリニック

医療法人 北海道家庭医療学センター

法人本部事務局
〒007-0841 北海道札幌市東区北41条東15丁目1-18
TEL 011-374-1780 / FAX 011-374-6265
recruit@hcfm.jp

お問い合わせ

以下のQRコードよりフォームにて事務局までお願いします。



お問い合わせ
<https://nurse.hcfm.jp/contact/index.html>



看護師採用サイト
<https://nurse.hcfm.jp>



看護師のキャリアスタートはここから

プライマリ・ケア 看護師募集案内



医療法人 北海道家庭医療学センター

看護のファーストステージに プライマリ・ケアという選択を

地域医療を支える 看護師を目指すなら

今後ますます重要とされる「地域医療」と「在宅看護」。
患者本人だけでなく、その家族や家庭、職場や学校、地域の中で
いかに「その人らしく生きるか」を支えるのが
プライマリ・ケア（家庭医療）の使命です。

北海道家庭医療学センター（HCFM）は、
高度な専門職である「プライマリ・ケア看護師」を育成し、
医療職の一員として自立するための幅広い学びと
充実した看護師人生を実現する環境を提供します。



プライマリ・ケアの5つの理念



プライマリ・ケアは 地域をまるごと診る医療

プライマリ・ケア (Primary care) とは、病気の人
も健康な人も、小児から高齢者まで、地域の人々
がいつでも身近に受診できる「総合的」な医療であ
り、その人にずっと関わり続ける「継続的」な医療で
もあります。北海道家庭医療学センター (HCFM)
では、「患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ
継続的なパートナーシップを築き、家族及び地域と
いう枠組みの中で責任を持って診療する臨床医に
よって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴
とするヘルスケアサービス」という定義のもと、5つ
の理念を掲げています。

プライマリ・ケア看護師は地域医療の中心的存在

プライマリ・ケア看護師は、プライマリ・ケアに関する高度な専門知識を持った看護師です。患者本人や家族
の方々に寄り添い、医療・介護・福祉などの多職種と連携を図りながら、地域のプライマリ・ケアをより深く、
より手厚く実践するための重要な役割を担っています。HCFMでは、「地域医療の要となる看護師を目指す」
という理念のもと、プライマリ・ケアを目指す看護師の育成に力を注いでいます。

HCFMの目指すプライマリ・ケア看護理念

- 患者中心の看護** 患者それぞれの背景を配慮しながら
寄り添う看護・継続的に関わる看護を提供します
- 地域多職種連携** 地域の医療・介護・福祉などの多職種の専門性を理解し、
協働しながら人々が安心して暮らせるように支援します
- 地域貢献** 地域住民と共に地域医療を考えながら、地域の健康問題を解決するために
多職種との協働・連携をはかり地域全体の健康管理を行います
- プライマリ・ケア看護の教育** 実践的知識と理論的知識を持ち、患者や家族に寄り添い地域や
多職種と連携して生活を支える看護の学びを継続的にを行います

Message 「プライマリ・ケア」を共につくる

家庭医と共に働く プライマリ・ケア看護師に 期待しています

向陽台ファミリークリニック 院長
中島 徹



家庭医とは、地域における健康のエキスパートで
す。地域をまるごと診るという視点を持ち、地域の
医療・介護・福祉などのリソースと連携して、最適な
サービスを提供する医師です。

家庭医と共に働く看護師は、家庭医療の本質を
理解し、プライマリ・ケアの知識や技術を身につけた
専門性の高い看護の担い手であると考えています。

外来や病棟以外にも訪問診療・訪問看護・在宅
ケアなどを熟知し、患者本人だけでなく周囲の状況
にも気を配ることができる看護師は、患者さんに
とっても医師にとっても頼りになる存在です。高い
専門性と総合的な視点を持ち、地域の人々のより
良い生活に貢献できるプライマリ・ケア看護師の
活躍に期待しています。

訪問看護は 地域医療のすべてが詰まった 最強のフィールド

向陽台ファミリークリニック 看護師長
向陽台訪問看護ステーション 管理者
鷹巣 香織



向陽台では、新卒・経験者に関わらず、訪問看護
に重点を置いた教育プログラムを展開しています。
なぜなら、訪問看護には対象者が必要とする医療・
看護・介護のすべてが関わってくるからです。

看護師は、利用者さんの住居に行き、さまざまな
処置やケアを行うだけでなく利用者さんやご家族の
悩みを聞いたり、今後の生活について相談に乗った
りします。暮らし中のさまざまな思いを受け止め、
利用者さんがよりよく生き、より良い最期を迎えら
れるよう寄り添い伴走するのが訪問看護師の役割
です。そのためには、医療機関以外にも介護・福祉、
自治体などとの連携が重要になります。利用者さん
に今何が必要なのか、どのようなサービスを提供す
べきかを一緒に考え、関係機関との連携を適切に
リードする。それができるようになると、外来や病棟

でも利用者さんの困りごとがいち早く気づき、自宅で
の姿や退院後の暮らしを具体的に想像しながら
適切な支援につなげることができます。責任の重い
仕事ではありますが、看護師が自分で気づき、考え、
対応する領域が広いのが特徴です。

高齢化が進み、在宅看護が増えていく中、これ
からの看護師にはさまざまな場所で多様な看護を
実践するプライマリ・ケアの能力とキャリア形成が
重要になります。HCFMは、福利厚生充実とフレック
スタイム制が導入されており、新卒でも安心して
学べるプログラムと家庭医や上司・先輩のサポート
のもと、余裕をもって働ける環境が整っています。
地域医療や在宅看護に興味のある学生さんには、
ぜひプライマリ・ケアの道を選び、私たちと一緒に
充実した看護師人生を歩んでほしいと思います。

Interview



医師や先輩看護師との距離が近く安心感があります

向陽台訪問看護ステーション 看護師 大谷 美乃莉 (2023年入職)

利用者様の表情がとても明るいことに驚きました

向陽台訪問看護ステーションに入職する前は、札幌市内の病院に6年勤めていました。病棟勤務では高齢の患者様が多く、同年代や若い患者様と触れ合う機会があまりありませんでした。現在は訪問看護を通じてさまざまな年代の方に出会えます。ご自宅で過ごすことは、利用者様にとって住みなれた環境なので、病棟では見られないようなリラックスした表情を見せてくれます。ご家族様も日頃の関りから心配事を話してくださるようになるので、治療や看護に役立つ細かな情報を得ることが出来ます。看護師が一番身近な相談者としての関係性を築くことで安心して住み慣れた場所で生活できる。その様な支援が行えるのも訪問看護の魅力だと思います。

情報共有ができているので緊急時もスムーズに対応

入職後2ヶ月ほど、プリセプター(先輩看護師)に同行しながら一通り仕事を覚え、以降は一人で利用者様に対応しています。ここでは訪問看護ステーションと向陽台ファミリークリニックが一体となっており、看護師は訪問看護だけでなく、訪問診療の同行やクリニックの外来業務を兼務しています。業務の幅が広いので大変な面もあるのですが、医師と看護師、利用者様相互の情報共有が密に行なえるため、状況が急変した時もすぐに誰かがサポートに入るなど、素早く対応することができます。スタッフ全員が利用者様一人ひとりのことをよく知っているというのは大きなメリットだと思います。ステーション内の雰囲気がとても良く、気軽に相談できるので、経験が浅い私でも不安なく務めることができました。

OneDaySchedule 向陽台訪問看護ステーションの場合

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:15	14:30	15:30	16:30	17:30	
出勤・朝礼	訪問1軒目	訪問2軒目	訪問3軒目	午前中の記録・連絡・調整	休憩	カンファレンス(他職種・職別)	訪問4軒目	訪問5軒目	午後の記録・振り返り・情報収集	退勤



看護師のキャリアもライフステージも自分のペースで

向陽台訪問看護ステーション 看護師 佐藤 絵理 (2021年入職)

学生時代から興味あった訪問看護に挑戦

看護学生の頃、実習で在宅領域を経験し、一人の患者さんやそのご家族にじっくり時間をかけて対応する訪問診療や訪問看護に興味を持ちました。卒業後、4年ほど急性期病院に勤務したのですが、やはり訪問看護の仕事に就きたいと思い、向陽台訪問看護ステーションに応募しました。看護経験5年目の人材を受け入れてくれるステーションは少なく、今の職場に入職できたことは本当に良かったと思います。研修中はプリセプター(先輩看護師)に同行し、訪問看護に必要な知識を身につけることができます。技術的なことはもちろん、機械の設置や操作なども丁寧に指導してもらえますし、医師や薬剤師、ケアマネージャーなど多職種との連携も、多くのことを学べる機会になっています。

育休・産休をしっかりと取得でき、職場復帰もスムーズ

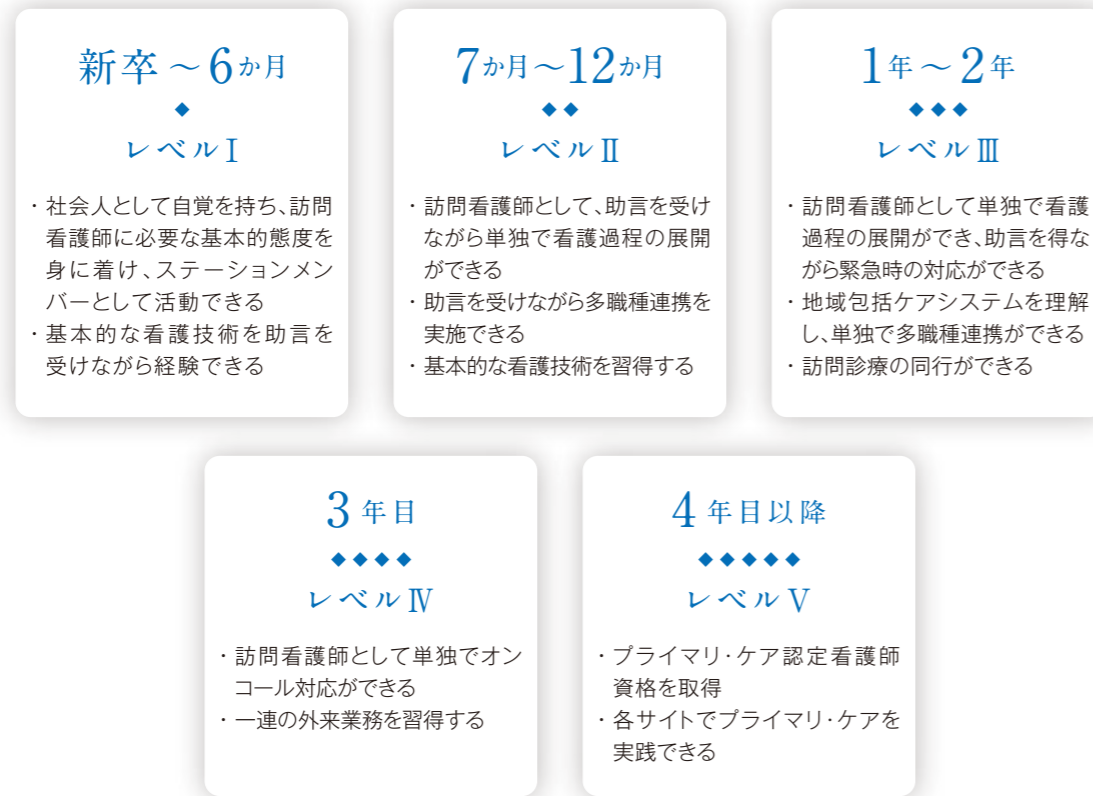
入職後、縁あって結婚し、子どもも授かりました。産休や育休はしっかりと取れますし、職場復帰する時もまったく不安はないと実感しています。職場の同僚には子育て世代が多く、子どもが熱を出したりした時は先輩や同僚がすぐにフォローに入ってくれるし、プライベートな相談にも乗ってもらえます。本当にチームワークの良い職場だと思います。職場復帰後はしばらく時短勤務になりますが、子どもが大きくなって手が掛からなくなったらフルタイムで働き、今度は後輩たちをフォローする側になりたいですね。看護師としてのキャリアもライフステージも自分のペースで無理なく築ける。それが訪問看護の魅力だと思います。

向陽台訪問看護の勤務形態

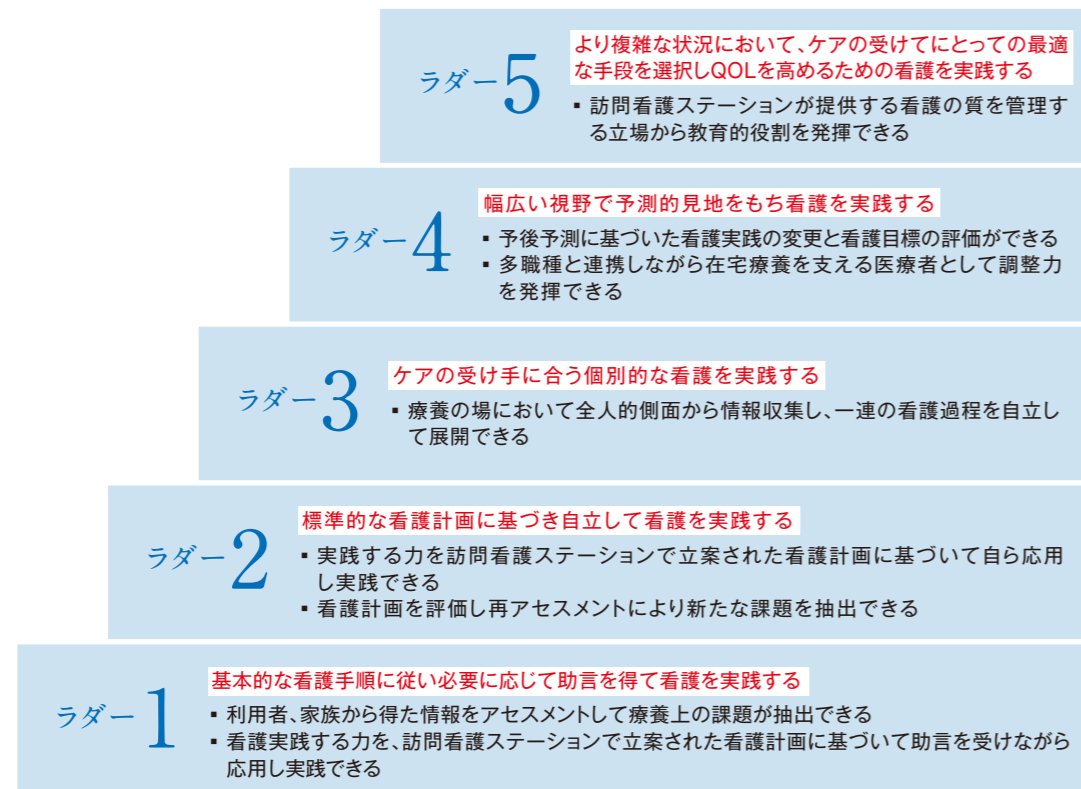
- ・ 向陽台訪問看護ステーションはフレックスの勤務形態を採用しています。
- ・ 平日×8時間がその月の所定労働時間となります。
- ・ 夜勤はありませんが、24時間の緊急対応があるので、交代で当番をしています。(月に4~5回程度)
- ・ 夜間出勤したら、次の日は勤務の調整があります。



到達目標 段階的な目標設定で成長を実感



向陽台訪問看護ステーションのキャリアラダー 丁寧で着実なステップで自信と成長を



北海道家庭医療学センター 3つのMission

プライマリ・ケア
×
家庭医・総合診療医

北海道家庭医療学センターは、さまざまな家庭医療診療所のモデルを提供してきたと同時に、北海道そして日本における理想的な家庭医療を実践し、その担い手となる家庭医を含む医療職の養成に力を尽くしています。変わりゆく日本の医療における家庭医療・総合診療のパイオニアをめざし、職員一人一人が輝き続けられる組織として歩み続けています。



3つのMission



プライマリ・ケア看護のパイオニアとして

プライマリ・ケアの概念は、日本ではまだ30年ほどの歴史ですが、その内容は医療の根幹に関わる本質的な医療分野といえます。北海道家庭医療学センター(HCFM)は、1996年にスタートして以来、30年に及ぶ活動の中で、家庭医療の普及と家庭医の養成に力を尽くしてきました。

看護の分野においても、近年は訪問看護や在宅看護といった科目が増え、地域医療に興味を持つ学生さんが増えつつあると聞き及びます。HCFMは、そうした学生さんに向け、訪問看護ステーション

と診療所を併設した医療機関で行う研修プログラムを提供し、新卒でもプライマリ・ケアの知識と技術をしっかり学べる環境を整えています。

医療の流れが高度に専門化・細分化しつつある一方で、総合的・横断的な視野を持ち、多様な職種と連携して地域医療をリードしていくプライマリ・ケア看護師の存在は、今後ますます重要になっていくと考えられます。私たちは、家庭医と共にプライマリ・ケア看護の領域を切り開くパイオニアとして活躍する、若い世代の看護師に大きな期待を寄せています。